

2017 きりしまのタネヤ通信

平成 29 年 1 月発行

No.93

発行／有限会社 国分種苗 899-4332 霧島市国分中央 3-23-8 TEL 0995-45-0275 (代表)
URL <http://kokubutane.com/> E-mail kokubutane@magma.jp
(ブログ／きりしまのタネヤのひとりごと)

今年もよろしくお願ひします

農事暦解説

生物は月の満ち欠けに影響を受けているといわれています。たとえば、サンゴは必ず新月に産卵するそうです。新月と満月のころ活動が活発になるようです。そこで、陰暦（旧暦）を基準にして病虫害の薬剤散布の目当てとなる農事暦を今年も作成しました。

小潮から大潮にかけてのリズムが充実期（盛んに吸肥を行い、細胞が増殖する時期）、大潮から小潮にかけてのリズムが伸長期（増殖させた細胞を伸長させる時期）
充実期中潮のころにリン酸・カリ・カルシウムの葉面散布、伸長期中潮のころにチッソの葉面散布を行います。

また、十干、十二支で丙寅（ひのえとら）、丁卯（ひのとう）、庚辰（かのえたつ）、辛巳（かのとみ）、戊子（つちのえね）、戊午（つちのえうま）、己丑（つちのとうし）、己未（つちのとひつじ）、甲午（きのえうま）、乙巳（きのとみ）、乙未（きのとひつじ）の日は、蒔いた種が火の勢いや土の力で押しつぶされたり、根を切られたりすることがあるので種を蒔くには、忌むべき日とされていますので、種まき忌日としてチェックを入れました。

そのほかに海の干満、二十四節気、六輝、特殊日を入れました。

六輝は日の吉凶を知る暦として、先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口の順にめぐっていきます。

先勝は、訴訟や急用に吉の日とされていますが、ただし午後からは凶です。

友引は、午前中と夕刻と夜は吉ですが、午後は凶、またこの日に葬儀を行うと他人の死を招く恐れがあるといわれています。

先負は、静かにしているのが良い日とされていて、特に急用や公事は避ける日とされていますが、午後からは吉です。

仏滅はこの日に開店や移転など新規に事を起こすことは避ける日とされています。

大安は、結婚、旅行、開店、建築など何事をなすにも吉日とされています。

赤口は、何事をなすにも忌むべき日とされていますが、正午だけは吉とされています。

特殊日として一粒万倍日、不成就日、三隣亡、天赦日をあげました。

一粒万倍日は、一粒の種から万倍にも増える吉日で、古くから開店や金銭を出すのに吉日とされています。反面、増えて多くなる意味から借金や人からものを借りたりするのは凶とされています。

天赦日は、大吉日で天の恩恵により何の障害も起きない日とされ、開店、事業、創立、拡張には最良の日とされています。不成就日、三隣亡は良い日ではありません。